



2021年12月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (非連結)

2021年5月14日

上場会社名 **大和重工株式会社** 上場取引所 東証二部
 コード番号 5610 URL <https://www.daiwaijuko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 宏典
 問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部 管理部長 (氏名) 氏原 卓也 TEL (082) 814-2101
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	662	△ 29.8	△ 104	—	△ 86	—	△ 87	—
2020年12月期第1四半期	944	△ 8.6	△ 121	—	△ 104	—	△ 86	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年12月期第1四半期	△ 66.40	—	—	—
2020年12月期第1四半期	△ 63.55	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2021年12月期第1四半期	5,712		2,691		47.1	2,044.71		
2020年12月期	5,735		2,669		46.5	2,027.49		

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 2,691百万円 2020年12月期 2,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	—	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注2) 当社は、定款において中間配当及び期末配当の配当基準日を定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	1,300	△ 22.0	△ 210	—	△ 160	—	△ 160	—	△ 118.79	
通期	3,300	3.8	△ 250	—	△ 150	—	△ 150	—	△ 111.37	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期 1 Q	1,358,000株	2020年12月期	1,358,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	41,474株	2020年12月期	41,474株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期 1 Q	1,316,526株	2020年12月期 1 Q	1,354,526株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は【添付資料】P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 事業等のリスク	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、中国経済の回復などから輸出が伸びた他、設備投資もプラスに転じました。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として緊急事態宣言の再発出もありましたが、3月21日には解除されました。しかしながら、同感染症の企業活動に与える影響については、今後も予断を許さない状況です。

このような環境のもと、当社は大型鋳造技術を活かした営業展開を一層強化するとともに、宿泊施設を中心とした「鋳物ホーロー浴槽」の営業強化など、受注・売上の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は6億62百万円(前年同期比29.8%減)、営業損失は1億4百万円(前年同期は1億21百万円の営業損失)、経常損失は86百万円(前年同期は1億4百万円の経常損失)、四半期純損失は87百万円(前年同期は86百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

〈産業機械関連〉

日本工作機械工業会による工作機械主要統計では2021年1月から2021年3月の工作機械の受注累計額は3,220億43百万円と、前年同期に比べ36.8%の増加となっております。

しかしながら、大型鋳物を得意とする当社の工作機械鋳物部品の同期間における受注高は前年同期比33.2%減の1億31百万円となりました。

ディーゼルエンジン部品の分野は、受注高が前年同期比93.1%増の88百万円となりました。

産業機械部品の分野においては、WEBによるオンライン営業を強化しましたが、受注高は11百万円と前年同期と比べ76.8%の減少となりました。

この結果、当セグメントの受注高は3億20百万円と前年同期比13.6%の減少、売上高では2億62百万円と前年同期比44.8%の減少となりました。

〈住宅機器関連〉

住宅機器関連の分野は、一般住宅向け「鋳物ホーロー浴槽」の販売が低迷する中で、「わの湯」や新製品である高級和風鋳物ホーロー浴槽の販売にも注力しております。また、宿泊施設の新設や改修に対する営業も強化しております。

この結果、当セグメントの売上高は3億99百万円と前年同期比14.7%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は、57億12百万円となり、前事業年度末に比べ23百万円減少いたしました。この主な要因は、流動資産では受取手形及び売掛金が89百万円減少したことと電子記録債権が34百万円減少したこと、また固定資産では投資有価証券の評価が上がったことにより1億53百万円増加しましたが、機械及び装置が13百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、30億20百万円となり、前事業年度末に比べ45百万円減少いたしました。この主な要因は、流動負債の内、支払手形及び買掛金が60百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、26億91百万円となり、前事業年度末に比べ22百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金が87百万円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が1億10百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は47.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日に公表いたしました2021年12月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では変更はありません。

(4) 事業等のリスク

東京証券取引所の上場廃止基準について

上場廃止基準への抵触については、2021年3月における月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上となったことから、東京証券取引所の定める上場廃止基準には該当しないこととなり、上場廃止基準に係る猶予期間入りの指定が解除されました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,217,771	1,220,084
受取手形及び売掛金	717,764	628,460
電子記録債権	310,209	276,136
商品及び製品	347,756	339,543
仕掛品	36,734	40,757
原材料及び貯蔵品	197,775	190,854
前払費用	784	931
未収入金	106,575	96,753
その他	2,075	5,461
流動資産合計	2,937,447	2,798,981
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	499,720	492,194
機械及び装置(純額)	267,935	254,328
土地	345,427	345,427
その他(純額)	122,175	106,315
有形固定資産合計	1,235,259	1,198,266
無形固定資産	7,785	7,135
投資その他の資産		
投資有価証券	1,327,393	1,480,613
投資不動産(純額)	151,306	149,896
その他	81,882	83,020
貸倒引当金	△5,150	△5,150
投資その他の資産合計	1,555,432	1,708,380
固定資産合計	2,798,477	2,913,782
資産合計	5,735,925	5,712,763

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	437,547	377,281
短期借入金	1,653,900	1,637,848
未払法人税等	811	4,328
賞与引当金	6,000	34,924
その他	167,131	118,487
流動負債合計	2,265,390	2,172,869
固定負債		
長期借入金	2,260	—
繰延税金負債	159,168	201,266
退職給付引当金	497,102	505,160
役員退職慰労引当金	67,587	66,200
資産除去債務	19,053	19,075
長期預り敷金	56,115	56,285
固定負債合計	801,287	847,986
負債合計	3,066,678	3,020,856
純資産の部		
株主資本		
資本金	651,000	651,000
資本剰余金	154,373	154,373
利益剰余金	1,501,647	1,414,235
自己株式	△34,730	△34,730
株主資本合計	2,272,290	2,184,879
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	396,956	507,028
評価・換算差額等合計	396,956	507,028
純資産合計	2,669,247	2,691,907
負債純資産合計	5,735,925	5,712,763

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	944,252	662,552
売上原価	870,363	601,236
売上総利益	73,888	61,315
販売費及び一般管理費	195,689	166,173
営業損失(△)	△121,800	△104,857
営業外収益		
受取利息	10	2
受取配当金	11	2
受取地代家賃	25,179	25,662
その他	416	271
営業外収益合計	25,618	25,938
営業外費用		
支払利息	3,017	3,205
不動産賃貸関係費	4,793	4,752
その他	7	0
営業外費用合計	7,817	7,958
経常損失(△)	△104,000	△86,878
特別利益		
災害による保険金収入	3,148	—
特別利益合計	3,148	—
特別損失		
投資有価証券評価損	23	—
特別損失合計	23	—
税引前四半期純損失(△)	△100,874	△86,878
法人税、住民税及び事業税	533	533
法人税等調整額	△15,330	—
法人税等合計	△14,796	533
四半期純損失(△)	△86,077	△87,411

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。